

履歴書

＜学生用サンプル＞

送付の場合はポストへの投函日
面接時に持参する場合は面接日

和暦が西暦にそろえる

令和〇〇年 △△月 ××日現在

写真を貼る位置

ふりがな 氏名	ちば たろう	印のマークがある 場合は、捺印する	印
戸籍で使われている漢字を使用		千葉 太郎	
平成〇〇年 △△月 ××日生（満 〇〇歳）	※	（男）・女	
ふりがな 現住所	ちばけんふなばししほんちょう 〒000-0000	電話	047-000-0000
千葉県船橋市本町一丁目3番1号フェイスマンション901号室		電話	
ふりがな 連絡先（現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入）	●県名から記入 ●番地や建物名も省略しない	電話	
E-mail: TaroChiba@ ne.jp		連絡は携帯電話に お願い致します	090-0000-0000

FAXやE-メールがあれば記入

希望する連絡方法があれば記入する

年	月	学歴・職歴(各別にまとめて書く)
		学 歴 ●一行目に‘学歴’と記入
平成〇〇	△△	船橋市立△△中学校 卒業
平成〇〇	△△	千葉県立◇◇高等学校 入学
令和〇〇	△△	千葉県立◇◇高等学校 卒業
令和〇〇	△△	〇〇大学△△学部××学科 入学
令和〇〇	△△	〇〇大学△△学部××学科 卒業見込み
		職 歴
		なし

◎あなたがどのような人なのかを伝えることが出来る欄です。
あなたらしさを伝えましょう！

★テーマ例★～具体的に伝えましょう～

学生時代の経験、強み、目指していること、興味・関心をもっていること、人柄、健康（体力）、趣味・特技、応募企業や職種へ興味を持ったきっかけなど

★構成のポイント★

「自分はこういう人間です」と簡潔に表現する＋「具体的なエピソード」＋「将来めざしていること」

以 上

◎あなたの仕事への思いを伝えることができる欄です

自分の言葉で、

- ①応募先の何に興味をもったのか、
- ②自分は何かができるか、取柄はなにか（経験・可能性・人柄）
- ③どのように貢献できるか（今後の抱負）などを
分かりやすく記入しましょう。

※性別欄：記載は任意です。未記載とすることも可能です。

研究課題または興味ある科目

ゼミや卒業論文のテーマなどを具体的に書きましょう。面白かった講義のことなどでもOKです。

- 例1 ゼミ：管理会計論 卒業論文テーマ：中小製造業における研究開発費に関する研究
卒業論文ではゼミの仲間と協力して、千葉県内の部品製造メーカーが研究開発にどのように投資をしているのかという研究を行いました。
- 例2 大学の講義では、マーケティング論に大変興味を持ちました。食品メーカーA社のケースから、食品メーカーが新商品開発から広告宣伝までどのようなマーケティング戦略をとるのかということ具体的に学んだことがとても面白かったです。

学業以外に活動で力を注いだこと(たとえばスポーツ・文化サークル活動・アルバイトなど)

スポーツ・文化サークル活動・アルバイトなど取り組んだことを具体的に書きましょう。

- 例1 テニス：学内のテニスサークルに所属。週3日の練習を4年間続けました。
- 例2 コンビニエンスストアでのアルバイト。大学1年から3年間週4日アルバイトを続けました。お客様の対応や商品の入出庫、在庫管理なども任せられました。また後輩アルバイトの指導も行いました。

趣味・特技

自分が好きなことを具体的に書きましょう。特技は他人との比較ではありません。自分は数学より英語が得意、そんな感じで考えましょう。

- 趣味 例1 読書：推理小説を読むことが好きです。
例2 バイクでのツーリング：大学3年生の夏休みに友人と2人で北海道にツーリングに行ったことが思い出です。
- 特技 例 初対面の人ともすぐに仲良くなれることです。一度会った人の名前は忘れません。

免許・資格

取得している免許や資格、取得に向けて勉強している、卒業時取得できるものも書きましょう。

- 例1 普通自動車第一種運転免許（AT限定）取得、実用英語検定2級合格、MOS（Excel365）取得
- 例2 〇〇資格取得に向けて勉強中です。〇年〇月受験予定。〇〇〇資格（卒業時取得見込）。

資格は正式名称で
記入しましょう

自己PR

あなたがどんな人なのかを企業の方に伝えるように、生き生きと書きましょう。そのためには、自分の「これまで・今・これから」の3つについて、考えてみるのが大切です。

- 例 私は何事にも一生懸命に取り組む性格です。高校の陸上部では、駅伝で全国大会を目指しました。残念な結果に終わりましたが、やるだけやったという充実感を味わうことが出来ました。

志望の動機

その企業や仕事を希望する理由を素直に表現しましょう。

- 例 私はパンが大好きで、近所に新しいパン屋さんができると、必ず食べに行くようにしています。最近では人の作ったものにあきたらず、自分でも工夫しながらパンを作って、家族や友人に食べてもらったりしています。自分がいろいろ工夫しながら作ったパンを、より多くの人たちに食べてもらい、お客様の喜ぶ顔が見られる仕事をしたいと思います。パンメーカーの貴社で「食」を通して、人々の毎日の生活に喜びと豊かさを提供する仕事に携わりたいと考えております。